

令和7年度 学校評価アンケート集計結果について

1 実施

(1) 対象者 教員（常勤職員）、全校生徒及びその保護者

(2) 期間 教員 11月26日(水)～12月2日(火)

生徒 11月26日(水)～12月2日(火)

保護者 12月3日(水)～12月9日(火)

(3) 方法

① さくら連絡網に google form で作成したアンケートの URL を添付して、回答を依頼した。
また、回答数増加のため期間を延長して実施した。

② 集計は匿名で行った。

③ 各項目を次の段階で評価する。

A：よく当てはまる

B：どちらかと言えば当てはまる

C：どちらかと言えば当てはまらない D：まったく当てはまらない

E：わからない（判断できない）

④ 教員及び生徒用は A・B・C・D の4段階、保護者用は A・B・C・D の4段階の他、Eを加えた評価を実施した。

⑤ 改善に向けた提言を頂くという観点から、自由記述を求める設問も設けた。

(4) 回答数

【今年度】教職員 40 (87.0% ↑)、生徒 491 (68.9% ↓)、保護者 509 (71.4% ↑)

【前年度】教職員 37 (82.2%)、生徒 517 (72.3%)、保護者 336 (47.0%)

2 考察

次の2点について、評価の観点とする。

① 肯定的評価（A+B）の割合

② 前年度との比較のために、Aを100点、Bを70点、Cを40点、Dを10点と点数化して各項目の平均値を比較

(1) 教職員対象アンケート

【①の視点】

25項目中23項目（昨年度21）で80%を超え、うち20項目（昨年度18）が90%を超える。肯定的評価の割合が80%を上回るもののうち、昨年度に比べて肯定的評価の割合が特に増加したものは、「1 学校経営」(+5.4%)、「2 教育方針」(+5.6%)、「4 校務分掌」(+9.5%)、「5 有機的連携」(+6.2%)、「10 組織的指導」(+8.1%)、「17 体験・ボランティア」(+28.2%)、がある。一方、肯定的評価の割合が80%を下回るもののうち、特に肯定的評価の割合が低かったもの、減少したものは、「21 施設・設備」(47.5%、-5.3%)、「22 環境・美化」(65%、-1.7%)等がある。

【②の視点】

前年比でプラスになった項目は21、マイナスになった項目は4であった。特にプラスに転じた項目で目立つものは、「5 有機的連携」(+5.3点)、「6 職員間理解」(+5.7点)、「17 体験・ボラ」(+12.7点)、「20 健康管理」(+5.6点)である。一方、マイナスに転じた項目で目立つものは多くないが、「18 危機管理」(-3.2点)、等がある。

【自由記述】「多忙化解消」、「先進校視察、研修」、「評価のあり方」等、組織運営についての記述があった。

(2) 生徒対象アンケート

【①の視点】

13項目中12項目（昨年度は11）で80%を超え、うち「1 本校入学」（94.7%）、「2 本校雰囲気」（97.6%）、「4 自主・自律」（94.7%）、「5 学校行事」（98.4%）、「6 教師の熱意」（96.7%）、「7 悩み相談」（95.3%）、「9 授業内容」（92.1%）、「10 授業レベル」（93.5%）、「11 進路指導」（93.0%）、「12 進路情報」（94.7%）、「13 情報発信」（91.4%）の11項目（昨年度は7）が90%を超え、生徒から全体的に高い評価を得ていることがわかる。一方、肯定的評価の割合が80%を下回るものには、「8 施設・設備」（64.3%、+2.3%）がある。継続的に改善に努めていきたい。

【②の視点】

前年比でプラスになった項目は13、マイナスになった項目は0であった。13項目のうち12項目の平均点が70点以上である（肯定的評価A=100点、肯定的評価B=70点と点数化している）ことから、生徒から概ね肯定的な評価を得ていることがわかる。特にプラスに転じた項目で目立つものは、「10 授業レベル」（+5.5点）、「13 情報発信」（+13.9点）である。一方、平均点が70点を下回った項目には、「8 施設・設備」がある。継続的に改善に努めていきたい。

【自由記述】

「教育課程について」（0件）、「進路指導について」（3件）、「生徒指導等について」（8件）、「環境・衛生について」（21件）、「施設・設備について」（21件）、「各教科の授業等について」（18件）、「その他」（5件）等があった。

(3) 保護者対象アンケート

【①の視点】

18項目中14項目（昨年度は13）で80%を超え、うちうち「1 本校入学」（96.9%）、「2 教育方針」（95.7%）、「4 教育活動」（90.0%）、「5 教師の熱意」（90.0%）、「11 学校行事」（94.3%）、「12 部活動等」（95.1%）、「17 地域の信頼」（94.9%）の7項目（昨年度は6）が90%を超え、保護者にとっても概ね高い評価を得ていることがわかる。一方、肯定的評価の割合が80%を下回るもののうち、特に肯定的評価の割合が低かったものは、「14 施設・設備」（59.7%、-1.5%）等がある。継続的に改善に努めていきたい。

【②の視点】

前年度比でプラスになった項目は14、マイナスになった項目は3であった。18項目のうち11項目の平均点が70点以上である（肯定的評価A=100点、肯定的評価B=70点と点数化している）ことから、保護者の方々からも概ね半分以上の項目については肯定的な評価を得ていることがわかる。一方、平均点が70点を下回った項目が6項目あった。これらの項目については、「わからない（判断できない）」と回答された保護者が多数いる状況もあった。次年度以降平均点が70点を下回った項目については、意識して改善に努めていきたい。

【自由記述】

「教育課程等について」（4件）、「進路指導等について」（5件）、「生徒指導等について」（9件）、「環境・衛生等について」（11件）、「施設・設備について」（22件）、「各教科の授業等について」（6件）、「その他」（14件）等があった。